

# 道 徒 の 聖

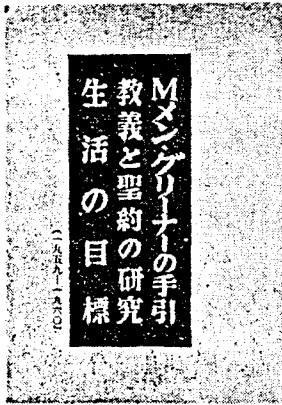


1960

3月号

末日聖徒イエス・キリスト教会

# MIA MANUALS



MIA グリーナーの手引  
教義と聖約の研究  
生活の目標

(一九五九・一九六〇)



役員と指導者の手引  
一九五九  
一九六〇



我らは  
奉仕する

Junior M Men  
Junior Greener

(一九五九・一九六〇)

自らを忘れて「神」と「同胞」に仕えることの重要性を説いた書、MIAの年少者用テキストではあるが年長者にも内容は極めて興味のあるもの。

一〇〇円

MIA役員たちの必読の書、一年間の計画、特別なプログラムが掲載されている。

一〇〇円

人生には数々の目標があるが、すべての目標を総括する唯一の目標こそ「永遠の生命」である事が強調されている。

一〇〇円

書類整理の能率を高める

## ファイルネット

(カタログ進呈)

## Itoki

## と ファイル用具

### 伊藤喜商店

東京・大阪・名古屋・福岡・小倉

東京都中央区銀座1の3

Tel (56) 9371 ~ 5



## 聖徒の道 1960年3月号

### 〔予言者のことば〕

悔改めの必要……………デビッド・O・マッケイ…(66)

### 〔伝道部長メッセージ〕

伝道部の統計が示すもの

……………ポール・C・アンドラス…(68)

### 「モルモンの教義」

始祖の墮落……………佐藤竜猪…(70)

### **極東に於けるモルモン**

私の改宗……………田中健治…(74)

＝求道者のための読物＝

モルモンとは(3)……………ゴルドン・B・ヒンクレー…(83)

### <系図>

先祖のために真の供養をしよう…大塚昌治…(76)

### 「信仰と証詞」

改宗して今日まで……………山川富士子…(86)

末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粹

ジョセフ・フィールディング・スミス…………(88)

キリストにより凱旋した野口兄弟……………(94)

伝道本部だより……………(95)

### **読者交歓室**

B・Y・Uの交友……………山田郁子…(92)

声のたより……………遠藤文方…(92)

札幌支部増・改築完了……………小城理子…(94)

初等協会のクリスマス・パーティ

……………谷上邦彦…(94)

も  
・  
く  
・  
じ

靈感を受けて語りたる

聖き予言者たちの

ことばを信じたる者

永遠の生命を得へし



## 悔改めの必要

大管長 デビッド・O・マッケイ

綿密に調べて見るならば、福音の原則はことごとく全く壮嚴な真理と一致していることが知れる。福音の原則のどの一つをとってみてもそれは全く含蓄に富んでいて、ほかの原則に通ずるかまたはほかの原則を内に含んでいると思われる。かくの如く、義しい生活をする力を人に吹きこむ「完全なる神を信ずる信仰」は悔改めをその中に含むと思われる。そのように、赦しは慈悲をその中に含み、慈悲はまた愛をその中に含む。この連鎖はどこまでも限りなくつづく。この調和、むしろ福音の根本原則がことごとく一体になっていることは、その一つ一つが永遠なる真理の要素であることを示している。真理は「あらゆる存在の総和」である故にあらゆるものを包括している。信仰、悔改め、慈悲、赦し、そのほか真理のあらゆる要素は、お互い同志のみならず自らが一部であるところの全体に対しても密接な関係に在ることを必ず示すにちがいない。

従って、どれか一つの原則をとってこれが最も大切であると言うことはむづかしい。或る学生は一つの原則を指して最も大切であると言い、他の学生は別の原則を指して最も大切であると言うかも知れない。各々の選択は研究の分量と自分の好む原則に注ぐ注意の分量によってきまるからである。永遠の諸原則を比べてみるとときには、どの原則の間にも軽重の差はないと言った方がむしろ正確である。

と言っても、この考えは悔改めに就いて語ったトマス・カーライルの力強い言葉の意義を減ずるものではない。カーライルは

「あらゆる行いのうちで悔改めが人間にとって最も神聖な行いではないか。最も大きな罪が、罪なしというあの尊大な自覚であるとするならばそれは死であると言うのだ。そのように自覚している心は誠実と謙遜とから離れているから実際に死んでいる」と言った。

明らかに、このスコットランドの哲学者はその洞察力を以て悔改めというこの神聖な原則のもつ永遠の性格をちりと見たが、予言者ジョセフ・スミスは信仰箇条を誌すに当って回復された福音の諸原則と儀式とを述べるときに悔改めを信仰の次に置いた。

自分の欠点を認めない人にどんな進歩ができるであろうか。このような人は、自分が今知っている状態よりもっと大きなもつと良いまたもつと望ましいものがあることを実感するという「成長の根本的要素」をなくしてしまっているのである。

自己満足の土は、真の成長に与える營養に不足している。真の成長の根は自己に満足しないところにより大きな助けを見出す。

天は欠点を認めない人をあわれと思う。また、自分の無知を知らぬ人こそあわれである。どちらも救いに至る道からはずれている。「最大の欠点は欠点を一つも認めぬことである」。

知識を得る第一歩は知識のないことを実感するところから始まる。また霊の成長を得るに至る第一歩は今よりも高いまた良い生活があることを信ずるところから始まる。これを逆に言えば、人が現在の状態を卑しいものである貧弱なものであると本心に悟るところから始まる。悔改めは卑しい低級なものに背を向けることであり、気高いものを得ようと努めることである。救いの原則の一つとして悔改めはもつと良いものを得ようとする願いのみならず、単なる後悔でなくて罪深い、卑しい、賤しむべきことで僅かなりとも身を汚

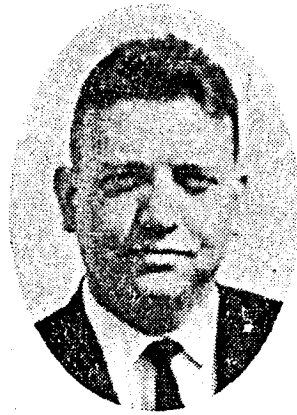
すようになったことを本当に悲しく思う悲しみを内容としている。

人々が自分のした過ちや愚なことや罪惡を後悔するのはよくあることであるが、このような短所や惡にきっぱりと背を向けないこともよくあることである。これらの人は罪を悔いているかも知れない、しかし「悔悟」ということは「一時的であって、人の性格や行為の変化を内容としないこともある」と言われている。これに反して、悔改めとは「自責の念と共に罪を犯したことを悲しく思い、もろもろの罪にきっぱりと背を向けること」である。従って、悔改めは単なる後悔以上のものであつて「天にふさわしい性格の変化を内容とする」。

イエス・キリストの福音の中にあるすべての原則と儀式とは、人類が進歩と幸福と永遠の生命とを得るための力を与えるために、充分意義がありまた大切なものであるが、人類が救いを得るために最も大切なものは神聖にして永遠に効果のある原則すなわち悔改めにおいてほかに何ものもない。悔改めをしないならば何人といえども進歩させることができない。悔改めの嚴肅なこと、悔改めがなくてはならぬことは予言者マルマの心を動かして、アルマ書二十九〇—二の言葉を出させた。

無知と罪惡とは人間のもつ最惡の敵である。この二つは救いをさまたげる障壁である。悔改めと福音に従うことによってのみこの二つを根絶することができる。この教会の出すメッセージの一つは人々がその弱点を認めてそれにうち勝つように力を借し与えることである。そこで、われわれは一人一人まず内部から成長し、神の子らとなり、心を純うし、悔改めをしようではないか。人が純くなるにはまず内なる生活を純くせねばならぬ。神は人のすべてを知りたもう。

## 伝道部の統計が示すもの



ポール・C・アンドラス

北部極東伝道部は千九百五十九年中にまたまた非常にすぐれた進歩を致しましたから、この記事でもっぱら伝道部に関する統計を少しお伝えすることにします。

千九百五十九年中に総計六百三十一名がバプテスマを受けました。この中で五百七十名の改宗者は宣教師からバプテスマを受け、二十六名は当教会に属する軍人からバプテスマを受けました。また昨年中には会員の小児（八才以上）三十五名もまたバプテスマを受けて居ります。前に挙げた伝道部内の五百七十名の改宗者中、三百十九名が日本で、二百一名が韓国で、五十名が沖繩でバプテスマを受けましたが、釜山支部は昨年中に六十八名の改宗者があつて第一位、京城中央支部は同じく六十三名の改宗者があつて第二位、京城東支部は同じく四十八名の改宗者があつて第三位でした。また昨

年中に那覇支部は三十一名の改宗者があつて第四位、岡町支部は二十九名の改宗者があつて第五位でした。

建築資金の募集は千九百五十九年中にすぐれた進歩を示し、合計九百六十二万百十八円の収入を得ました。これは当伝道部の歴史上建築資金募集に断然一番成功した年であつて、当教会所屬の軍人団体は合計六百六十五万八千二百六十四円の寄附をして先頭に立ちました。伝道部内の支部が募集した二百八十九万三千百十円の資金は日本、韓国、沖繩に於ける各会員の捧げた多くのぎせいと努力とを示しています。また千九百五十九年には阿部野、京城東、釜山および普天間の各支部で土地を買いましたから、今や当教会では伝道部に属する三十二の支部の中二十二が土地を所有しているわけであります。千九百六十年すなわち今年中に伝道本部の新建築と二つもしくは三つの教会堂の建築が始まる予定でありますから、この先数年のうちには各支部に新しい教会堂を建てることができると思います。また昨年中には教会の文献の方面にも相当な進歩がありました。

佐藤竜猪兄弟によるタルマツヂ長老著「信仰箇条」の新しい日本語訳が千九百五十九年十二月に出版されて一段と大きな進歩を致しました。当教会の標準聖典の全部に加えて四十六種類の参考書と各種手引きとが現在までに日本語に翻訳され出版されています。韓国ではすでに Byung Sik Hong 兄弟によるニーフアイ第三書その他モルモン経からの抜粋の翻訳が完成して居り今年の半ばごろに出版されるはずであります。これに加えて八種類の手引きがすでに韓国語に翻訳され出版されています。また昨年中には文字通り何十万部のちらしと何万部のパンフレットと六千部以上のモルモン経とが配布もしくは販売されています。

また昨年中に、伝道部に於ける会員の合計は二千七百八十九名から三千四百六十八名に増加しました。この中三千百八十七名は日本人と韓国人と沖繩人であり、一方二百八十一名は当教会所属の軍人団体に属しています。実際には、当伝道部内には米軍に属している当教会の会員が約千五百名ありますが、そのうち二百八十一名だけがその会員として籍を当伝道部へ移しています。当教会所属の軍人団体に入っている会員を数えないと、千九百五十九年の終りには日本に二千五百二名、韓国に五百三十七名、沖繩に百四十八名の会員がありました。当伝道部に働く専任宣教師の数は一月に百十四名ありましたのが十二月の終りに百名までに減りました。この減少は宣教師の伝道期間が千九百五十九年の九月附で三十六箇月から三十箇月に減ったことに因るものであります。そして昨年末には専任宣教師が日本に七十六名、韓国に十八名、沖繩に六名居りました。同じく伝道部に働いている三十五名の非専任宣教師が昨年末にありました。

二年つづきの年であり、また当伝道部の歴史上第二番目の年として、昨年は女よりも男の方に多くの改宗者があって教会に入ってきました。すなわち男の改宗者、三百十二名に比して女の改宗者は二百八十四名でありました。軍人関係を除いた当伝道部の会員三千百八十七名中千七百十四名（五十四パーセント）が女、千四百七十三名（四十六パーセント）が男であります。また日本に於ける二千五百二名の会員中、千三百九十四名（五十六パーセント）が女、千四百（四十四パーセント）が男であります。沖繩では六十一名（四十二パーセント）の男に比して八十七名（五十八パーセント）の女がありましたが、韓国ではいつも男の会員の方が女の会員よりも多くて千五百五十九年の終りには三百六十名（六十七パーセント）の男と百七十七名（三十三パーセント）の女がありました。千九百五十九年の日本に於ける改宗者は百六十三名（五十一パーセント）が女で百五十六名（四十九パーセント）が男でありました。また韓国では改宗者の百二十名（六十パーセント）が男で八十一名（四十二パーセント）が女でありました。更に沖繩では改宗者の二十七名（五十四パーセント）が女で二十三名（四十六パーセント）が男でありました。

千九百五十九年は一年を通じて神権者の数が著しくふえて年の終りには当伝道部の中に日本、韓国、沖繩を合せて六百三十六名の神権者があり、そのうち長老が百七名、祭司が百五十九名、教師が百十名、執事が二百五十九名でありました。また日本には日本人の長老九十四名、韓国には韓国人の長老十二名、沖繩には沖繩人の長老一名ありました。更に日本に日本人の祭司百二十六名、韓国に

# 「始祖の墮落」(十)

佐藤 龍 猪

われらは、人は皆其身にて為したる罪に対して罰を受け、アダムの咎に對して罰を受けざることを信ず。

(末日聖徒イエス・キリスト教会、信仰箇条第二条)

## 一、「墮落」という日本語の含む意味

現今「墮落」という日本語は通例道徳的に劣悪な状態にあることを表わす意味で使われている。例えば「墮落した宗教」「墮落した政治」「墮落した音楽」など嫌悪の感情を催おさせる目的を含めていつも使われている。しかし「墮落」という文字のものと意味は法華經普門品第二十五の中の偈に「或被惡人逐、墮落、金剛山、念彼觀音力、不能損一毛」とある如く「落ち下ること」「降下すること」であって、英語の聖書にある「Fall」という文字はイザヤ書(十四〇十二)には「あしたの子明星よいかにして天より隕ちしや」ガラテヤ書(五〇四)

には「汝らはキリストより離れたり、恩恵より墮ちたり」ヘブル書(四〇十一)には「是かの不従順の例にならいて誰も墮つることなからんためなり」黙示録(二〇五)には「汝いずこより墮ち、しかを思え」とあり、口語訳聖書ではすべて「落ち、ち」という字があててある。

キリスト教用語としての「墮落」は(墜落と言っている教派もある)各々の教派でいろいろの意味に使われているが「靈的墮落」と言われていることの本質は、常住神の前に居る靈の生活から「落ち下って」(靈の死を受け)死なねばならぬ身を持つ生活に入ったことを言う(「教義と聖約」二十九〇四十一、「救いの教義」第二卷三二五

・三三六)。

## 二、聖典に誌された「墮落」

始祖(アダムとイヴ)の「墮落」の記事は旧約聖書創世記第三章に載っている。また聖書外典(アポクリファ)のエスドラス第二(三〇二十一・二十二)智恵の書(二〇二十四)シラクの子イエスの智(またはエクレンヤステイカス二十五〇二十四)などに「墮落」に関する記事があり、新約聖書ではパウロの手紙であるコリント前書(十五〇二十二)コリント後書(十一〇三)およびロマ書(五〇十二)に「墮落」に関する記事が見える。末日聖徒イエス・キリスト教会の聖典にはモルモン經のニーフアイ第二書(二〇十九・二十六)高価なる真珠のモーセの書(三〇八・九・十六・十七、四〇一・二十五)アブラハムの書(五〇八・十三)および教義と聖約(二十九〇四十・四十一)などにそれぞれ「墮落」に関する記事が載っている。

## 三、モルモン經に誌された「墮落」の真義

「一ルアダムとイヴは禁斷の実を食ってから、二人ともエデンの園から追い出されて地を耕すこととなった。二〇そして彼らは子供



をもうけ、まことに全世界の人類の両親ともなった。二一そして神のみこころによつて、人間の生命はかれらが肉体に在る中に悔改めをするようにと延された。それであるから、かれらの人生は試しの生涯となり、そのつづく長さは主なる神が人間に与えたもうた命令によつて延された。神は全人類に、かれらはその始祖が罪を犯したために墮落したことを知らせたまい、すべての人は皆悔い改めねばならぬと命じたもうた。二三さてごらん、もしもアダムが罪を犯さなかつたならば、彼は墮落をせずにそのままエデンの園にいたであらう。そして創造された万物は造られた後の状態そのままに続いてあつたに違ひなく、また必ずそのまま永久に続いて終りがなかつたであらう。二三またアダムとイヴは子供をもうけることもなかつたであらうし、それから不幸を知らないから喜びもなく、罪を知らないから善もなさず、そのまま罪が無い状態に留つたであらう。二四しかしながらごらん、万物は万物を知る者の全智に由つて成つた。二五アダムが墮落したのは人類を生ずるためであり、人類が現世に在るのは幸福を得んためである」(ニーフアイ第二

#### 四、「墮落」前のアダム

前節ニーフアイ第二書第二章二十二節から「墮落」する前のアダムは不死の体を持っていたことが解る。またニーフアイ第二書九章六節に「かように人間は墮落をしたために主の御前から追い出されてしまった」とあり、またヒラマン書十四章十六節に「あらゆる人類はアダムの墮落によつて主の御前から追い出された」とあるからアダムは「墮落」をする前に神の御前に居たことが解る。また前節ニーフアイ第二書二十三節と二十四節から「墮落」をする前のアダムは子供をもうけなかつたし、善と悪との力を認識する知識がなかつた、従つて苦痛も知らず悲哀も知らずその他人生に於て経験する多くのことを知らなかつたことが解る(「救いの教義」第一卷一〇七頁)。

ニーフアイ第二書第二十四章に「万物は万物を知る者の全智によつて成つた」とある。この地球は神の子らが進歩向上をするための所として造られた。人間は血肉を受けて「死ぬべき者」としての生涯を送るために前世の状態からこの世に來た。人

間はこの仮の宿である「試しの世」に來て喜びと幸福を知ると共に苦痛と患難を知つてから必らず死ななくてはならないということとはすでに天上に於て命ぜられていた。イエス・キリストは創世の前から屠られる子羊として予任されて居たもうたが(黙示録十三〇八)、この末の世にわれわれのために現れたもうた(ペテロ前書一〇廿)。それであるから「救いの計画」はことごとく靈界に於てすでに了解されて居り、人類はアダムがこの地球へ持ち來すべき「死ぬべき身を持った生」の目的を教えられていた(「救いの教義」第一卷一一〇頁)。

五、「墮落」後のアダム

「墮落」をしたためにアダムは神の前から追放されて「靈の死」を受け、同時に「肉体の死」(または仮の死)を受ける者となつた。しかし、アダムは「死ぬべき身」を持つて始めて善悪を知る知識と幸不幸を味わう経験とを得、その上子供という大きな賜物を得た。

アダムとイヴの「墮落」には性的罪惡の意味があると言つて教える者があるがこれは間違つてゐる。アダムとイヴは死がこの世に人

らない前まだ不死の身を持ってエデンの園に居た当時、主なる神によって結婚した（創世記第二―三章）、（「救いの教義」第一卷一一五頁）。

アダムは「墮落」によつて「霊の死」を受けると同時に肉体の上にも変化が現われ、不死の体は變じて肉体のもつ惡を受け取るものとなり、ついには老衰という現象があらわれ最後には霊と肉との分離（肉体の死）が起るようになった。しかし、アダムの「墮落」は「不幸に見えるが実は祝福」であつた。アダムは「墮落」しなければ不死不滅の体も義しい者に与えられる永遠の生命も得られなかつたであらう。アダムは「墮落」の後「神の御名は讃むべきかな。われ罪を犯せし故にわが眼は開けたり。われこの世に生きて悦びを受け、われまた再び肉体に在りて神を見ん」と言い（モーセの書五〇十）イヴも喜んで「もしわれら罪を犯さざりせば、われら子孫を得ざりしならん。また善惡の区別も知らず、われらの戯れる喜びも知らず、すべて従順なる者に神の賜わる永遠の生命も知らざりしならん」（モーセの書五〇十一）と言つた。

## 六、始祖の罪

人類の始祖（アダムとイヴ）は神の誠命に背いた結果として「墮落」をした。これによつて肉体の虚弱、病氣、死等がこの世に現われ、アダムとイヴの子孫は「墮落」の結果生じた惡を受けついで居り、肉がこれらの惡をすべて受けついで居ると言われている。人類のもっているこれらの不完全は不服従によつて現われたものであり、従つて罪の結果であることに間違ひはない。しかし、アダムの咎に対する責任はあらゆる正義に照らしてアダム独りが負わなくてはならない。今われわれの死ぬべき身の有様に現われている人類の「墮落」した現状はアダムとイヴに始まつたものである。しかし神の正義はわれわれが単にアダムの咎によつて責任を問われることを禁じたもう。不幸患難、榮枯盛衰および「死ぬべき身」を持つ存在の状態が強制する容赦のない労苦が、アダムからわれわれの受けついで一部分であるにしても、正にこのような状態に於てわれわれは惡にうち勝ち善を選び、父なる神のもちたもう数々の住居に於て救いと昇進とを勝ちとるよう霊の力を發

達させる好い機会を真に見出すことができるのである（「信仰箇条の研究」六二九頁）。

「死ぬべき身」を持つてゐる状態の人間は、前の世に在つた霊が地上の諸元素より成る肉体と結合したものであつて、このような霊と肉体との結合は肉体を持つてゐない状態から肉体を持つ状態への進歩を印しづけるものであり、人が高きへ昇つて行く道程の中の量り知れない前進である（「信仰箇条の研究」六三〇頁）。

「墮落」によつて肉体の死がこの世に入ってきた。人間は必ず死ななくてはならない、しかしこの肉体の死は人間が惡にうち勝つて高きに昇つて行くためにはなくてはならないものである。

進歩をするためにはこの世に生を受けることが大切であると同じように死ぬことが大切である。

## 余 録

「教義と聖約」第七十六章八十八節に「私たちは任命されて彼らの守護霊となりたる天使たち」という言葉がある。この「守護霊となりたる天使たち」とは何者であるか。「子言者ジョセフ・スミスの教え」（英文）一九

一頁に次のように誌してある。すなわち「彼は天使と守護霊となりたる天使との違いを説明した。天使とはその霊によって、体と具えた霊たちに導きと教えを施す復活体を具えた者もしくは生きながら天に昇った者である。守護霊となった天使とは、体を脱した霊たちを訪れて導きと教えを施す体を脱した霊である。イエス・キリストは（その肉体が墓の中に横わっていた三日間）守護霊となつて「ひとや」に居る霊たちの所に行きキリストの使命の大切な部分を果したもうた。これを為さずにはキリストの御業を完成することができなかった、もしくは安息に入らなかつたもうことができなかったであろう。復活をしてからは、イエスは天使としてその弟子たちに現われたもうた。

生きながら天に昇った者は、死に等しい変化を身に受けた時に始めて安息に入ることができる。これらの者たちは将来使命を果すためにとて置かれる。パトモスの島でヨハネに現われた天使は生きながら天に昇った者か、もしくは復活した者であった。イエス・キリストは復活の後、復活した者たちに教えと恵みを施すため復活体で行きたもうた。アダムから現在に至るまで権威と権能が連綿と

つづいている。真理と智慧を得る最も善い方は、本を見てそれを求めることなく、祈りによって神の許に行き直接神の教えを得ることである。神が死者を救いたもうことは、神が死者を復活させたもうことと同じく信じられることである」と。

（六十九頁よりつゞく）

韓国人祭司三十名、沖繩に沖繩人祭司三名ありました。更に日本に日本人教師八十四名、韓国に韓国人教師二十五名、沖繩に沖繩人教師二名ありました。また執事は日本に日本人執事百九十名、韓国に韓国人執事六十一名、沖繩に沖繩人執事が八名ありました。そして昨年の終りには日本に於ける日本人の神権者が合計四百九十四名、韓国に於ける韓国人の神権者が合計百二十八名、沖繩に於ける沖繩人の神権者が合計十四名ありました。

また千九百五十九年中にアロン神権の按手聖任式が二百九十五回、メルケゼデク神権の按手聖任式が三十四回、両方合せて三百二十九回の神権授与式が日本、韓国、沖繩の各会員の中で昨年中に執り行われました。この数字を各年別に比較すると千九百五十八年には二百八十六回、千九百五十七年には二百回、千

九百五十六年には五十七回、千九百五十五年には二十六回でありました。

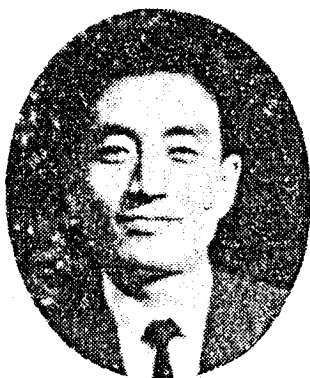
千九百五十九年には当伝道部に於ける教員（日本、韓国、沖繩人を含めて）の六十七名が結婚しました。そのうち二十四名が男、四十三名が女でありました。昨年中に結婚した二十四名の男のうち十五名が教員と結婚し九名が非教員と結婚しました。また四十三名の女のうち十四名が教員と結婚し二十名が非教員と結婚しました。

以上の数字が示すように、千九百五十九年は北部極東伝道部の教会にとつて本当にすばらしい成長と進歩の年でありました。千九百六十年の予想はひきつづき非常に有望であります。



# 極東に於けるマルモーン

## 私の改宗



田中健治

(東京中央第一副支部長)

月曜の夜は家庭の夕、ストーブの暖かみを

背に受けて嬉しい筆を連ねております。青空のよく見える世田ヶ谷の公園アパートに住まわせて頂いてはや足かけ二年、隣の部屋から生れて一ヶ月になる信彦(二男)の力強い泣声が聞えます。パチパチとの音に目をやると一人歩きが楽しくて仕方のない明彦(長男)が拍手しながら真丸な笑顔をニコッと見せます。コト／＼と台所で清江姉妹が夕食を用意しています。彼女が口から快よさそうな讃美歌の調べが洩れるのも不思議はありません。目をつぶると、涙と喜び、苦しみと克服をも

たらした出来事の数々がなつかしい人々の顔と共に代るがわる現はれて、永遠の生命の道の豊かさと厳しさがひし／＼と身に迫って来ます。

一九五二年の暮、すっかり寝しづまった那須野ヶ原の開拓地の土堤にひざまづいていたころが思い出されます。「心の中から憎悪、ねたみ、うらやみ、うそ、けいべつ等、の汚れの動機を完全になくし、代りにキリストの全き愛を満たして真の喜びの生活したい」と長い間願ひ、もしそれが出来るならこの一年だけの生命でも良いと遂には我無者羅な努力を傾けたのに、益々みにくい自らの姿を見いだしたのでした。毎晩の祈りはやがて約束されている聖霊の導きのないことに気付かせ、それが「水と火によるバプテスマを受けてい

ない」ためと思はれるようになりました。

「どの教会でも良いのだろうか」互に異った教えを述べる多くの教会? 「御意に合うバプテスマ」が私の祈りの目的となったのです。

翌年の三月二十六日真理の使者が訪ねて下さいました。神権の話に至って神様が活きて働かれた時代は過ぎてしまったのかと思い始めていた私の心は喜びに震えはじめました。聖書に記された通りのバプテスマ、聖霊の導きは、喜びの涙を始めて知らせて下さいました。それまでの無理な生活から目を悪くしていた私はまだ仕事をしながら病気をなおそうとしていましたが、ある日御霊に「あなたは間違っている。病気をなおすために全力を尽しなさい」と飛び上る程強く注意されました。それから三年三ヶ月の入院生活は私にとって苦しい多くの問題がありました。しかし祈るたびに「信仰を深くして行きなさい心配はありません」と励まして頂きました。それに加えて長老達、兄弟姉妹方の励ましも受けたのです。灌油接手を受け、そして御意により普通両眼に来るべき病気が片眼で喰止められ、熱心に治療して下さいましたお医者さんからもその好運を祝されることになりました。一九五七年三月三十日片眼の視力を失ってい

るとは言え入院当時より遙かに元気で退院できたのです。四月二十八日涙の流れをどうしても止められない私の耳にアンドラス部長さんの言葉が聞えておりました。「田中兄弟、あなたの受けた苦しみはあなたの進歩のために与えられた大切な試練でありました。そしてあなたはそれによって清められたと存じます。」私は聖なるメルケゼデク神権を与えられました。もし私が正しい生活を常になし、謙遜に熱心に神権の召に従って歩み、神様と人々を受けて働くなら神様はいつも私を通して働かれるのです。男子にとってこれ以上の光榮はありません。

財産なく、職なく、不自由になりましたが何のおそれることがあるでしょうか。ベッドから起きた足腰の痛みの消えかけた二ヶ月後私は前橋の電気屋さんに日給二百五十円で勤めました。主人や客へのつとめもキリストに仕える如くすることは、楽しいことでした。やがて給料が上がり三百円になった時ホルモンの家庭をどうして建設するかと額を寄せて相談した当時のことが夢のようです。やがて東京に職業が与えられ東京中央支部に責任を受けました。「僕はこの教会に求られて本当に嬉しいのです。聖書やモルモン経に書かれ

てあることは皆本当のことです。僕の目標はたゞ一心に神様のために働いて大神権を受けられるようになることです。」「忙しくて大変でしょう。系図の記録を作るのを手伝いたいのですがいつ伺ったら良いですか。」「私達にまかせて下さい。パーティには本当に良い食物を用意しますからきつと又この間のように売切になりますよ。」「何と素晴らしい人々の間に居られるのでしょうか。そして、やがて明彦や信彦が「お父さん、お母さん喜んで下さい宣教師に召されました」と言って呉れる日が待たれます。聖徒にとっては全ての事が相働いて益となるとパウロが申しましたように、全くそうだとあかしいたします。

末日のイエスキリストの教会に力のかぎり働きたいとだけ、そして終りまで皆様と一緒に頑張りたいとだけ願っております。

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| × | × | × | × |
| × | × | × | × |
| × | × | × | × |
| × | × | × | × |

「あなたを迷わすものが何もない時  
あなたの心を誘惑する罪のさゝやきが何もない時

慎しみ深くあることは極めて易しいことだ  
しかしその慎しみ深さは試練の火によって  
試されるまで、それは単なる消極的な美德  
に過ぎない

欲望に抗する生活こそ、この世の人々がす  
べて賞賛するに値ある生活なのだ。

エラ・ホイラー・ウイルコックス

この世的な事柄に従事し、且つ与えられる  
勧告に耳を貸す人たちは、この世的なみならず  
霊的にも彼ら自身の状態を必ず改良せしめ  
る。

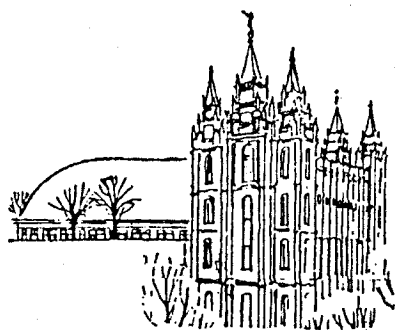
ブリガム・ヤング

永遠の生命は人間に与えられる偉大な賜物  
であり、主は次第に人間の不死不滅中に榮光  
を加えられる。永遠の生命は知識の結果にし  
て、この知識は神の御心をなすことにより得  
られるものである。 デビッド・O・マッケイ

△系図▽

# 先祖のために真の供養をしよう

——系図調査から死者のバプテスマまで——



## 大塚 昌 治

——死者の救いの事業に供養という言葉を使えば日本人にはピンとくるのではないですか？

こんな質問を系図のグループから時々きかれることがある。供養という言葉をきくと何となく線香のにおいとお経の聲がきこえて来てどうも仏教と切り離して我々には考えられないが、しかし意味するところは亡くなった人の霊を慰めるということにあると思うので

なにも仏教用語専用になくても単に慰める事ばかりでなく亡くなった人の救いの為の事業、即ち死者のバプテスマや神殿内で行われる諸儀式について使用して悪いとは思えない。そこで叔父に向って自分は先祖の供養をキリスト教的にやっているかと述べた所急に目を光らせて

——キリスト教でも先祖の供養をやるのか、どのようにやるのだね？

と質問された。この叔父がもしも世のクリスチャンであつても同様の質問をしたに違いないと思うのである。キリスト教というと親子も先祖も捨て、しまふような印象を与え、また先祖の救いについては、ほとんど教義す

らないのだから。

「まづ先祖の系図を作る仕事から始めるのです。直系の先祖を捜しその家族を調べそしてその子孫即ち傍系の子孫も調べます。これはすでに親戚関係をたっている遠縁にあたる人たちの事です。」

例えば叔父さんの五代目の先祖は私にとって六代目の先祖です。その先祖の六代目の子孫はきっと今の私位の年令でしょう。そうするとその人は第五代の従兄弟の關係になるわけです。第一から第四位の従兄弟は多勢死んでいきますからその人たちも調べて供養してやるわけです」

——そうすると大変な数になるな？

「え、かぞえきれません。直系の先祖だけでもかぞえきれない数ですから」

——生涯かかってもしも終らない仕事だな。そうすると判らない人が多くあるだろうが、判った人だけでも供養をするのか。

「そうです。名前にその人の生年月日、死亡年月日、結婚月日、その土地名、子供についても同様の記録が必要です。それをファミ

リー・グループ・シートという用紙に書き込んで日本にある伝道本部を通じてアメリカにある系図協会に送るのです。」

——どうしてアメリカに送るのか？

「死者の儀式は神殿と呼ばれる特別の建物の内でのみ行われるのですが、日本にはまだ建てられてないのです。いつかは私たちの手で建てたいと思っています。」

——それでお前は幾らか調べてアメリカに送ったのかね？

「え、もちろんです」。

——どこで調査したのだね？

「祖母さんの実家でお葬式があったでしょう。もう数年前だけど。その時七十近いおばあさんがいたので聞いたのです」とても記憶力のよい人で、たいていの人の命日をおぼえていたのですよ。それが最初です。」

——そうか、あの人はお前の祖母さんの従姉妹にあたる人だよ

「それを基にして系図を作ってみました。」

やはり教会に用紙があるのでそれに書き込むのです。それで四代目位までは簡単な系図が出来たのです。これで一昨年一週間の休暇を取って系図調査旅行をやりました。先祖の墓参りを兼ねて三ヶ所の寺に行ってみました。

こけむした墓石をけずり、俗名と命日をさがしました。墓によっては俗名がないので院号を書きとり後で住職に過去帖を見せてもらって調べました。父の母方と、母の父方が武士なので寛政頃の小さな墓までありました」。

——院号をとるには金もかゝったので昔はなか／＼もらえなかつたのだよ。家の(母方)方は立派な院号をもった先祖が沢山あったろう  
「えゝありました。でも昔の墓より明治頃の方が院号が盛んに使われていましたよ。古い先祖の墓には院号がない方が多いでした。」

——そんな筈はないのだから。

「でも教会の事業には院号は必要でないのです、俗名が判らない場合だけ戒名を書きとって置きました」。

——平民と士族との儀式に区別はあるのかね？

「いゝえ別に、たゞ士族だと系図が家宝になつていたりしますから系図調査には大変有難いのです」。

——本家の倉に系図がしまつてあるが知つてゐるかね？

「えゝ母から聞きました。ぜひ見せて欲しいと思うのですけど、見せてくれますか？」

——そうだね今度話してみよう。私も

一ぺんみたいと思っているが。

「寺の次に市役所の戸籍係の所に行きました。ですから叔父さんの記録もアメリカに行つてますよ。」

——そうか。親籍の秘密をお前は充分知つたわけだな。

「実の所そうなんです。調べているうちに結婚年月日より子供の出生が早い場合があり、母にきいたところ親のゆるしがなく籍が一緒に出来なかつたとの事で昔の人のロマンスが出て来ました」。

——そのあたりはまだ良い方だが現在生きている人で出生の秘密を背負っている人もいるだろう。先祖の名前や命日位の調査なら大いに我々も賛成だが、戸籍まで調べて、くわしい事をいち／＼書くとなると迷惑な人もあるだろうよ。記録することを悪いとは云わんがあまり宣伝せんようにな」。

「はい」

——市役所の調査では系図調査というより戸籍調査といった方が近いな。

「ファミリー・グループ・シートに書き込む内容はどうしてもそうなのです。除籍簿を沢山引き出してそれでも二十家族位の記録を作りました。その中に六十人位の死んだ先祖

や血族の人がおりました」。

（その記録は系図協会に送られて最近もどつて来た。近いうちに死者のバプテスマが行われた知らせが来るかも知れない）

——それでその神殿で行われる儀式はどんなのだね。

「死者の身代りのバプテスマという儀式があります。聖書にも出て来ます（コリント前五章二十九節）行う儀式は私がバプテスマを受けるときと同じ方法で全身水にしずめるのです。それによってその人は新に生れ代り、神の前に聖い人となるわけです。罪やけがれは単に洗われたのみでなく、ゆるされるのです。」

——その儀式を受けると天国に行けるといふわけだな。

「儀式はバプテスマだけでなく按手礼エンダウメント、シーリング、そして神権の按手聖任永遠の結婚の諸儀式がありますが、やはりその前に要求される事は、霊の世界で、特にこの世で神の真の教えを聞かなかった人たちは福音を学ぶ必要があります。多勢の宣教師が霊界という所で伝道していますからその人たちを通じて学ぶ必要があります。天国即ち日の榮という処に入る為には資格が必要で

すからその人の努力が必要です」

○ ○ ○ ○ ○

死者とは全く滅亡してしまつたものではなく霊界に霊として生存している一個の人物として救われる為にはやはり我々教会の会員と同じ努力が必要である。記録を送られた全部の人が救われるのではなく、やはり救いはその人の意志なしになされない。我々が先祖を訪ね求める事は隣人を教会に導き宣教師に紹介するのに等しくその後は本人の努力をまつ仙はない。

死者をさがし出す事は多くの時間と金銭が必要とされる。一人の人の記録をみつけたのに十日や一ヶ月もかかる事がある。三代や四代の先祖となると三年や四年の日時が必要になつて来るかも知れない。しかし伝道事業には多くの犠牲が必要であり、尊い仕事であればこそ困難はつきものであるう。

予言者ジョセフ・スミスは云っている

「神がわれわれに与えたもうたこの世の最も大いなる責任は、死者を探し求めることである」

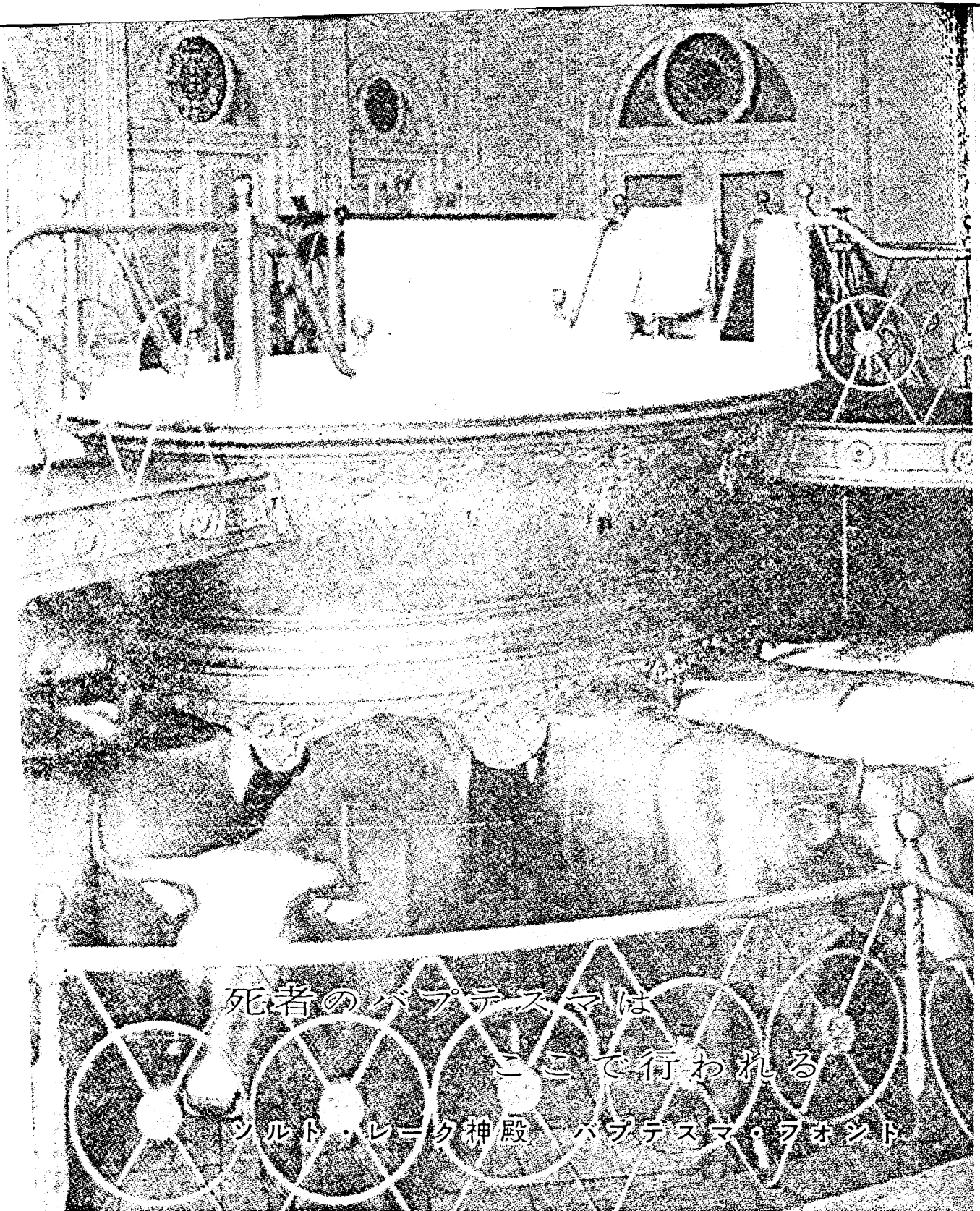
「この故に、いざわれら一教会員として、一人の民として、また末日の聖徒として、正しきに適う捧物を主に捧げん。またいざわれ

ら、主の神殿の完成せる時、その中に於て、主が完全に受け入れたもう価値ある、われら死者の記録を載せたる一冊の書を主に呈せんと。」

また汝らは選びたる急使を遣わして聖徒らに言え。汝ら来れ、汝らのあらゆる金、銀、宝石、あらゆる古代の遺物を持ちて来れ。またすべて古代の遺物の知識を有する人にして、来るを欲し来るを得る者は皆共に来れ。また須らくつげの木、もみの木、松の木を、世のすべて貴き木々と共に携え来れ。また鉄、銅、真鍮、亜鉛その仙世の貴き物を持ちて来れ。而してわが名により、最と高き者の住むべき一つの宮居を建てよと。そは彼来りたもうて汝らのすでに失いたるもの、すなわち彼の取り去りたまひしもの、すなわち完全なる神権を再び回復したもう土地はこのほか世に一つもあらざればなり。そは彼ら、すなわちわが聖徒らが死者に代りてバプテスマを受くるための浸礼盤世になければなり。すなわちこの儀式はわが宮居に属すれば、汝ら貧しくしてわが宮居を建つる能わざる時代を除きわれに受け入れらるること能わす。

教義と聖約一二四(二六)三



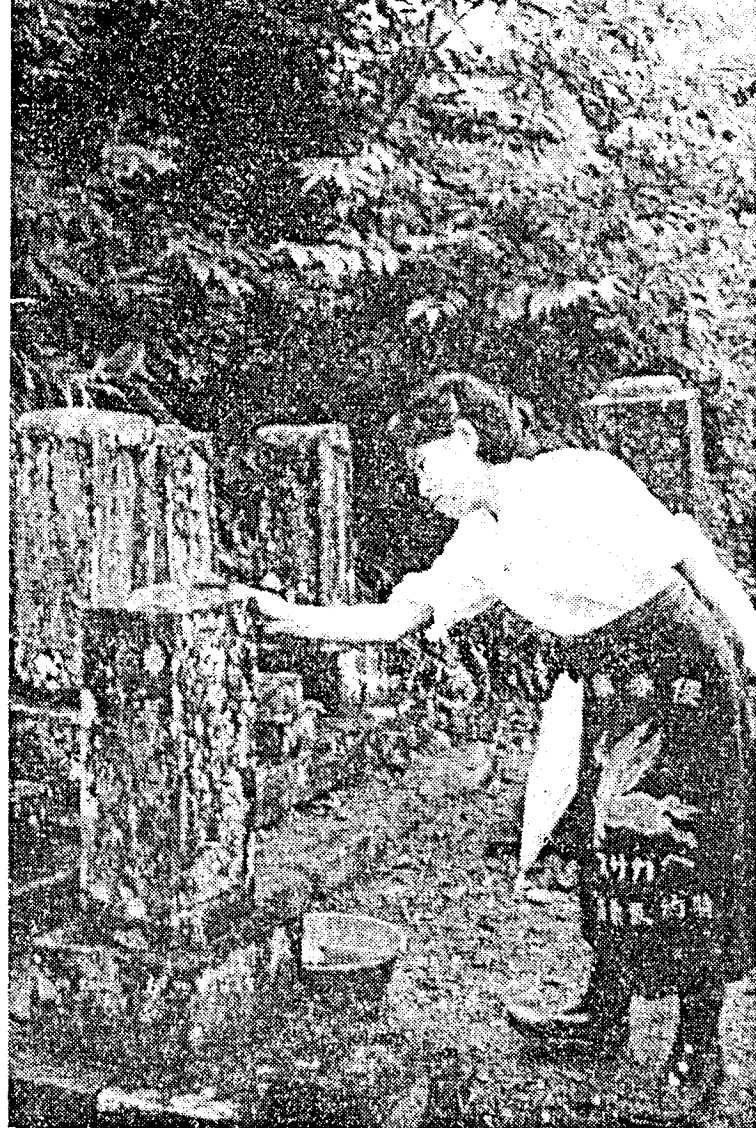


死者のバプテスマは  
ここで行われる  
シルト・レーク神殿 バプテスマ・ラボシト

「すなわち先祖とその子らとの間に或種の事項につき或種の固き繋がりなき時は、この世は咀いをもて撃たることこれなり。見よ、そもそもその事項とは何なるか。そはすなわち死者に代るバプテスマなり。死者なくばわれら全うせらるるを得ず、またわれらなくば死者もまた全うせらるるを得ず。われらも彼らもまた福音を受け入れて死にし者なくては全うせらるるを得ざるなり」

こけむした墓石を  
洗い落すと親しい  
家族と再会するよ  
うです →

洗い流された親し  
い家族は正確に記  
録されることを待  
っています ↓





↑ 一人でも多く調べようと、戸籍簿、除籍簿の山をはさんで役所の人も真剣に手伝って下さいました

← 苦心して調べた家族の系図を整理するのは、本当に楽しいひとときです

——群馬支部系図第一副会長 福沢昌子姉妹の系図探求、演出なしのスナッフです——





## Ⅱ 求道者のための読物Ⅱ

# モルモンとは

(3)

ゴルドン・B・ヒンクレー

## 結 婚

多くの人々にとってモルモン教とはただ一夫多妻を意味していた。これは全世界の話題となつて来た。かつてこのような物語りが普及したが事実が知れ亘るに及んでそのような書物はほとんど消失した。

事実は次の通りである。モルモン教はすべての以前の神権の時代に於ける神の業の回復を主張する。旧約聖書は昔神に氣に入られた族長たちが神の許しのもとに一人以上の妻を持つたと教えている。十九世紀に於ける教会の発展途上に於て教会の指導者たちにそのよ

うな結婚の実施が再び取入れらるべきであると啓示された。この教義の宣言は非常な衝撃であつた。モルモン教への改宗者のほとんどがニューイングランドの清教徒をその先祖としている。この教義を聞いた少し後にブリガムヤングは街を通る葬式の行列を見た。そして彼はこの教義に直面するよりもむしろ喜んで棺の中の人と代りたいと言つたと報ぜられている。

然しながら教会の指導者たちはそれを神よりの誠命として受入れたのである。それは困難な事であつた。ただその人格が最高で一つ以上の家族を維持する能力ありと証明された者のみがそのような結婚を許された。如何なる時に於ても教会の三パーセント以上の家族が一夫多妻であつた事はなかつた。その実施は厳に宗教的原則によるものとされた。

一八八〇年代の末、国会はこの実施（慣習）を禁止する各種の法案を通過させた。そ

して最高法院がその法の成立を宣言した時教会は進んでそれに従うことを示したのである。国法に従うことをその根本的な教えとしているのでそれに従うことを示したのである。国法に従うことをその根本的な教えとしているのでそれに反する何事をもなす事が出来なかつたのである。これは一八九〇年であつた。それより教会の役員たちは一夫多妻を行わず、そのような関係をなした会員は教会より破門されたのであつた。然しながら偽りの情報熱心にまわされたので、いまだにその慣習を実施していると言う多くの馬鹿げた意見が続いたのである。これらは末日聖徒の結婚の教義の実体を不明ならしめているのである。

モルモンの神学に於ける結婚は神によって聖任された神聖な契約である。神権の権能の下に男女が結婚する時それは単に此の世に於て合法的夫及び妻となるばかりでなく、永遠にそうなるのである。そのような結婚は現在教会で使用されている十二しかない神聖な神殿の中に於てそれを行う権能を与えられている。監督やその他の役員は他の教会の牧師たちと同様に普通・殺市式として行ふ。

る事が出来る。

教会は家庭の神聖を強調し子供は主よりの祝福であると教えている。末日聖徒が神聖な結婚契約以上に強調している原則はない。姦通はモルモンの神学に於ては殺人に次ぐ重罪である。厳格な道徳が教えられ、教会はその施設を自由に使って青年男女に道徳的潔白の必要と幸福な結婚を教えている。

### 智恵の言葉

モルモンの神学は、天国の性質とアルコールの害の如く相違した広範囲に亘る問題を扱っている。実際に於てはこの体系の哲学に於て二つは密接に関係しているのである。我々の肉体は神聖である。人は神の形に造られた。彼の力量は彼自身の状態と同様に彼の周囲の仲間の向上の為に使わるべきである。彼の肉体は彼の霊の幕屋であり復活に当り彼と共に起上るのである。

要するに神聖な概念は人体に附属しているものである。然らば如何なる人といえどもその健康を害し或は消耗する時病氣となり欠かんと生ずる。この哲学の下に教会の会員はアルコール、タバコ其の他健康をそこなうような有害な飲食物を取らないようにすゝめられ

る。このような教えの効果は百年以上に及んで健康統計に大きく示された。団体の平均律としてモルモンは国際連合の統計による合衆国全体及其他国民全体の平均よりも長命であり、より秀れた健康状態で生活している。

### 教 育

「人は無智にて救われず」教育はモルモンの神学によれば望ましいものであるばかりでなく永遠の進歩に必要である。我々がここで学んだ事は我々は持ち続け来世に於てもまた学び続けるのである。真理は探求すべきものであり、すべての分野に存在する。教会の初期に於て次のような命令が神聖な啓示として与えられた。「汝ら熱心に教えよ、さらばわが恩恵は汝らに伴い、かくして汝らの理解する必要がある理論と原理と、教義と福音の律法と、神の王国に就けるすべての事は更に完全に教えられる。また天にも地にも地の下にも関わりあること、またすでに起りたること今有ること、近く必ず起らんとすること、また国内に有ること国外にあること、また戦争諸国民の葛藤、地上に下る審判、而して国々と王国とに就ける知識などもまた然り、故に教育はあらゆる意味に於て教会の関心事である。

従って教会は学校の育成に惜し気なくその資料を授じたのである。更に教会は常に青年たちに教育を通じてより高い完成に進み役に立つ人間になるようにすゝめている。

この哲学は公衆教育の分野に於けるユタ州の民の到達せる高い地位に疑いもなく或程度反映している。ユタ州は他のすべての州より秀でている。最近の資料によるとユタ州は教育事業に対する財政的能力に於て国内で三十二番目であるがその業績と教育効果及び成人教育の範ちゅうに於て首位にある。この資料の編纂者は次の如く結論している。

「これは教育がユタ州の人民によって殆ど完全な程高く評価されている事を物語っている。ユタ州は教育部門のあらゆる業績に於て他のすべての州に勝っている。

「義務兵役（軍人機関紙）も同様の事を述べている。国内の各州より兵役に入った者の教育的背景を検討せる結果次の宣言を以て結論している。「もう一つの最高は山の国ユタ州で徴募兵のわずか九、四パーセントが高校一年以下の教育しかなく一八、五パーセントが少くとも大学一年の課程を終了して居り、平均して高校二年生でこれは全国民の平均より一年高い」

ユタ發展の初期より教会は公立学校で宗派的宗教を教える事に反対の宣言をして来た。けれども同時に正規の日常学校教育に併行して宗教教育の必要を認めて来た。

この必要に応ずべく、教会は公立高等学校および大学の便益に供して神学および宗教専門部を設置して来た。そこで学生たちは旧約新約両聖書また同様に教会の歴史および教義の課程を提供された。現在ユタ州その周辺の各州に於ける高等学校に一八九の神学部が附設されており、西部諸大学の構内に一八の宗教専門部が設置されてある。

これらの施設に加えて教会はプロヴオに七千名の在学生を容する完全公認のブリガムヤング大学を維持している。教会はまたアイダホ州に短期大学を北部メキシコに五年制小学校と高等学校を一つ持つている。

### 財政はどうなっているか

教会の神学を取扱っている部門に於て財政に就て論ずる事は奇妙な様に見える。けれども金銭は他の如何なる機関に於けると同様に宗教社会の運営にも本質的なものである。そしてその確保の方法は宗教的原則として聖文の中に定められてある。

モルモンの集会に於ては募金を行わない。十分の一の昔の律法は、教会の財政的律法である。末日聖徒はそれを神聖な宣言として受入れている。各会員は正当な経費を支持する為収入の十分の一を献納すべく期待されている。

これは他のすべての機関と同様宗教の原則として教えられている。

けれどもこれには強制はない。人は十分の一を支払わなくても破門されることはない。

十分の一の記録は公表されない。彼自身と彼の監督との間で厳格に秘密が守られている。

そしてその様な情報をもたそうとするような教会の役員は誰もいない。

かくして集められた十分の一は教会の基金に入りそれから各必要に応じて分配される。

これらの内には教育施設、神殿その他の教会の建物の設立、維持および類似の要求がある

慈善の目的を以て使用される基金は異った根源から来る。毎月の第一日曜はモルモンでは断食の日である。すべての会員はこの二

回の食事を取らず、その代金を貧しい人の救済に献金するように期待される。集められた

この種の金は、すべてこの目的の為に使われ先ず最初に集められた地方の人たちの為に使わ

れる。

それから余つた金は総基金に繰入れられ、この基金の不足する各ワールド部は総基金より引出す事が出来る。

これに加えて他の目的の為にまた或基金が集められる。外部より見る人々にとっては、教会の会員の支払は高く見えるかも知れないけれども活潑な会員はそう思わない。無欲に与える結果、彼らは単に靈的に成長するばかりでなく、教会が広範なプログラムの中に提供するすべての教会の施設はますます心をはたかせる事に受取る事が出来る。



## 改宗して今日まで

小川 富士子

(普天間支部)

私が当教会のすばらしい御福音を始めて耳にしたのは、一九五七年の晩秋の頃でした。

その頃の私は、学校を卒業したばかりでほんとに社会を知らない上に未熟な学生時代に想像した社会に対する観念があまりにも幼稚な自分に狼狽したものです。

このような無智と矛盾した実社会にともすれば失望し、どん底にあるとき、自分は何者かに助けを必要とするまで身も心も乱れていたようです。

こんなとき、私はイエス様のことを考えるようになりました。と申しますのは、学生時代友人に誘われ、近くの教会に細々足をほんだことがありました。そこで「イエス・キリストは神の独子であり、人類はイエス・キリストを信仰する以外に救

いの道は無い」ということを聞かされ、そのことだけが漠然と記憶に残っていた。

しかしこのような浅薄な知識は決して自分に平安を与えるには充分ではなかった。

唯、信ずれば救われるのか、またどう信仰すべきか、一体何をすべきか、全く足場の無い知識はますます自分をして混乱の中に引きずりまわすばかりでした。それと同時に平安を得ようとする心境は日増に強くなり、祈ることを教えられていたにもかゝわらず、私はかつて唄を忘れたカナリヤのように全く祈ることを忘れていたが自分の無力と如何なることも自分自身不可能と覺ったとき、自ら祈りたいと気がかきたてられました。

しかしどう祈ったか現今の自分にはすっかり記憶にないが、唯一生懸命、真心から

祈ったことだけ覚えています。

するとどうでしょう、ほんとに自分にとって驚嘆すべきことが起ったのです。自分がこのように祈ってから数日後、姉から次のようなことを聞かされた。「今日二人の外人が訪問され、興味ある神様の話をして帰られ、又数日後訪問されると約束された」と言うことです。

私はこのようなおとずれを唯偶然と思いたくありませんでした。是非お話を伺いたいと考えました。

店員という関係から月に一度や二度位の休日を与えられていた。私は、その休日を利用して神様の話を聞きたいものだと考えその約束の日に休日をもらうことに心をきめました。そして、その日をほんとに期待した。すると、はたしてどうでしょう約束の時間に二人の宣教師は姿を現わしました。職業上外人との接触にはなれていたがこのような素朴なそれでいて鄭重な日本語と態度を身につけた外人に接したことはありませんでした。

私たちは、早速勉強を始めた。最初に自分を驚かせたことは、モルモン

証 詞 と 信 仰



経の出現や、ジョセフ・スミスの受けたすばらしい見神、すべてが初耳で、それにもまして私を驚かせたことは、真の教会は、この末日聖徒イエス・キリスト教会だけに言う宣教師の強い証に自分は全く魅惑させられた。宗教上知っていたつもりの特徴たる知識を遙かに超越した教えは全く特殊の教会だと思った。最初は半信半疑の私も孜々と教えられるレッスンに全く心の目が開かれ、神の存在をはっきり認めることが出来、これこそ自分の求めていたものであり、これこそ人類を救うことの出来る教えであると自分自身に叫び続けた。

イエス様はかつて言われた「まず最初に神の国とその義とを求めよ、そうすればすべてのものは増し加えられるであろう」と、そうです。

**詞 証** 私は少しも躊躇しませんでした。それからまもなく退職し、安息日を守りたいと望んだ。神は常に導き、我が光となりすべてが増し加えられている。始めて末日聖徒の兄弟姉妹に接することが出来た時の感激は今だに記憶に真新しい、こんな楽しい儼然な場があったものかと不思議にさえ思っ

た。それ以来、生活は一変し神を信じ悔改め、そして罪を許して頂く為バプテスマを受けたいと望み、忘れもしない一九五八年の一月十一日、兄弟姉妹の祝福のもとに当支部長であったジャック長老より霊の誕生を受け、神と聖約した時この時の感銘をどう表現してよいかそのすべを知らない。その後教会員の一人となり、今までかつて体験したことのない心の喜びを獲得することが出来た。

現在、自分にとって最も関心のあることは自らの生活をこの回復された福音と神権の律法と原則とに合致したものにすることです。しかし、未熟な信仰は決してその理想にふさわしくないかもしれないが、唯末日聖徒イエス・キリスト教会が真の教会であり、神の恵み給う唯一の教会であり、回復された神権によって設立されたという見えざる証は何者も自分から奪うことは出来ない。

現在この末日の時代に於いて神は全世界に福音を宣べ伝えるよう、その責任を附与されている。

私のような無能な者も神は必要とされる

とは、まさに末日の今如何に人々にとって悔改めが必要であるか容易に理解することが出来ます。

私はデビット・O・マッケイ大管長に心から感謝し、現在の真の予言者であることを心から証し致します。

又全世界に福音を伝えられる宣教師にまた全教会の兄弟姉妹に感謝致します。

元来この世に生を受けて多くの恵みを受けている中、最も感謝することは当教会に導かれたことであり、これ以上の恵みを自分は見出すことが出来ない。なぜならこれを通して全くの平安と安息の場を見出すことが出来たからです。

「主はわたしの牧者であって  
わたしには乏しいことがない」



# 末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粹 (三)

ジョセフ・フィールディング・スミス著

序論 古代および中世に於ける福音(つづき)

## 第二章 背教

八、不法の秘密。すでに述べたように、パウロはテサロニケ人に「不法の秘密はすでに働けり」(テサロニケ後書二〇七)と言ひ、またテモテにあてて「アジャに居る者みな我を棄て」(テモテ後書一〇十五)たりと言った。われわれはパウロがこれよりさきにアジャ人の改宗者たちと何か言い争ひをしたことがあると信ぜざるを得ない。それはパウロが大いに悲しんでテモテに手紙を書いているからであつて、そのわけはパウロの同僚の中の幾人かがパウロを捨ててイエス・キリストの福音に反する教義を先に立つて唱えていたからである。パウロはこれらの悪を正そうとして誰一人助ける者もなしに言い争つた。それはパウロが「わ

が始めの弁明のとき誰も我を助けず、みなわれを捨てたり」(テモテ後書四〇十六)と言っているからである。

九、「みたま」の賜の止んだこと。教会員の中に「みたま」の賜の現われが止んだのは、使徒たちがこの世を去ってから間もないことであつた。キリストの教会と不可分に結びついているこれらの賜が止んだので、人々はこれらの賜は教会の初期に設けられたがそれは単に教会の確立を助ける手段としてであつて、教会が立つてしまえばもはや必要でないからこれ以上つづくはずがないと信ずるようになった。これは今日でもひろく行われている信仰である。次に啓示や神との交通もまた止んでしまった。民がその目を閉ぢてしまったのもはや示現もなかった。このような状態はまた、今なお世人の信じているところであるが、主がその僕たちを通じて啓示はつづくはずであると啓示したもうているにもかかわらず、正経はもはや完成しているか

らこれ以上聖典のあるはずがないと万人に信じさせるようになった。

#### 十、教会管理の変化。

神権の中の数々の職も変った。それは福音を宣べ伝えられた者たちが健全な教義に堪え切れずに、私欲のままに人の氣に入るようなことを言う「心腐り、信仰につきて墮落したる」教師らを増し加えたからである。

#### 十一、教会が人々の中から取り去られる。

時が移るに従って、昔あった使徒や予言者たちのかわりに、主が定めたもうた制度とまるで違った教会制度があらわれた。迫害や背教が絶え間なかったために贖い主の立てたもうた教会はこの世から取り去られ、ついに真の教会の形骸のみが残るに至った。真の教会の代りに起った、われこそキリストの教会であると主張したかの大教会組織は次第に強大になつて行つた。真理から誤りへ変るのはただの一日でできたのではなかった。その変化は第一世紀に始まつてそれにつづく中世紀にもその歩みを止めず、ついに使徒の時代に立てられた真の教会がもはや人間の中にあとかたもなくなるに至つた。神の靈感を受けた人の指導なくして誰が神と交通できようか、このような変化はまことに当然な変化であつた。

#### 十二、ローマ教会起る。

第四世紀の始め、さきの大宗教勢力はコンスタンチン大帝の支配下にローマ帝国の国教

となつた。その時以来この勢力はその司どる領土を広げて永くも終たぬうちにいわゆる文明世界の宗教を支配する大勢力となつてしまつた。この力によつて「時代と律法」は変化を受け、キリスト信仰の単純な諸原則は異教の礼拝から借りてきた豪華神秘的儀式でほとんど異教と見分けのつかぬほどに飾り立てられた。これらの儀式を執り行ふ司祭や法王たちは、もはやガラヤの謙虚な漁り人らのもつていた単純な慣わしに従わないで、目を驚ろかす高価な衣裳を身にまとい法冠を頭にいただき、へり下つた心の人々を威圧し、度胆を抜くような不可思議な諸儀式を行つて得々と種々の役割を勤めた。

#### 十三、教会の教義に現われた変化。

イエス・キリストが教えたもうた「神会」に関する正しい教義は変化して「秘事」になつてしまつた。罪の赦しを受けるために水に沈められる本当のバプテスマの儀式は、頭の上に僅かの水を振りかけることに変つた。誤つてバプテスマと言われている慣習「神を嘲り、キリストの恩恵と聖霊の御力を否定する」慣習である幼児洗礼、幼児の頭に水を振りかけるこの儀式は固定した一般の慣習となつた。聖餐式を執り行ふに当つても数々の変化が加わり「化体」によつてパンと葡萄酒とが十字架にかかりたもうた贖い主の肉と血になるという教義が唱え出された。また教職に就いた者たちは結婚を禁ぜられ、ここにとり立てて言う必要もないが、神権の

職能を果すに当りまた主を礼拝するに當ってこのほか多くのことが変えられた。

#### 十四、法王の有つ俗界勢力。

ローマはこの教会勢力の主都となつて、言うところの主教すなわち法王はその頭首となつた。そして、この勢力は権力が伸びるに従ひ宗教上のみならずまた民治上の事にも統治の権を主張した。これが隆盛を極めていた間、当時知られていた全世界は事実上その支配下にあつた。この勢力によつて数々の王がつくれ、また数々の王が退位させられた。これらの王はあわれむべき屈従をして法王の権力の前に低頭しなければ、その強大な権力を思い知らされた。これに就いてフレデリック・シーボームはその著「プロテスタント革命の時代」の中で「諸々の王は教会から認可を受けるまでその王座を安全に保つことはできなかった。然るに一方、教職者たちはその居住する国の法律を以てしては起訴されない権利があると主張した。かれらは直接ローマから権能を受け、且つ王へではなくて法王への最終控訴権をもつ自分たちの宗教法と教会法廷とを手離さないように努力した」と書いてゐる。

またモトレーはその著「オランダ共和国の興隆」の中で「司教に反対する告訴を確定するためには七十二人の証人が必要であつた。また執事に対しては二十七人、それより下の聖職者には七人の証人が必要であつた。然るに一方、平信徒に有罪を宣告するには二人あれば事が足りた」(第一

卷六十七頁)と誌してゐる。

#### 十五、聖職者の権力。

聖職者以外の僅かな者だけが読み書きをするに足る教育を受けた。従つて司祭たちが多くの国民の中で法律家、外交官、使節、教育者、首相などとなつた。すべて学識のある人々はローマの言語であつたラテン語で書いた。一人の男がラテン語で読み書きのできることを、また教会法廷の裁判という恩恵を受ける権利があると主張できることを示して罪の宣告を行った。これは何百年にわたつて英国で行われたそうであるが、その教会法廷の裁判は永い間の濫用でその国の刑法による処罰を免れるという意味になつた。司祭たちは以上述べた重要な職に就いて、そこで大きな権力を振り大いに諸国民の運命を左右することができたのみならず、またかれらの多くはきわめて貪欲になり、その金もうけぶりは「まるで神わざ」になつた。チャールス五世の秘書官の兄弟であつたジャン・ド・ヴァルデは当時の状態に就て次のように誌してゐる。

「キリスト教の教職者たちからわれわれはほとんど何ものも得られない、ただ金だけだということを知つてゐる。バプテスマの時に金、主教の職に就く時に金、結婚の時に金、ざんげの時に金、いや臨終の塗油式でさえも金次第である。かれらは金を出さねば鐘も鳴らさぬ。金を出さねば教会堂の内部に埋葬もしてくれない。それ故に、金のない者にはパラダイスの門も鎖されているようである。金持ち

たちは教会堂の内部に埋葬されるが、貧乏人たちの埋められるのは外の墓場である。金持ちは近親とも結婚ができるが貧乏人たちはたとえ死ぬほど愛していても金持ちのように結婚はできぬ。金持ちたちは精進日に肉を食つてもよいが貧乏人たちは肉を食うことを許されない。金持ちたちは免罪符の大きいのをいつでも手に入れることができるが、貧乏人たちは払う金がないから一つも手に入れることができない」(「プロテスタント革命時代」六十頁)。

これにかえて加えて、かれらはいろいろな手を使って人々から税金を取った。すなわち農場の全産額から十分の一を取り、土地代の十分の一、労働者の給料の十分の一を取った。モトレーによると「さらにかれらの領地と十分の一に満足することなく、教職者たちは農民の上にかかる新しい重荷を次から次へいくらでも考え出した。すき、鎌、牛馬すべての農具に税がかけられた。これらの税は収護を納屋にとり入れる人々のためでなくて、少しも骨折って働かなかった人々のためであった」と誌している。

(佐藤龍猪訳)。

☆ ☆ ☆ ☆

☆ ☆ ☆ ☆

私は人生の祝福に与り幸福になるようまた同胞に益ある人間であり、祖国の榮譽となるように神が創り給うたと信ずる。私は今日の試験は自身の人格をより強く、より高尚なものとし、また人生の高価なものを享受せしめよに必要な火の如きテストであると信ずる。

私は自身の魂がこの世に敗北するには余りにも高価であると信ずる。それ故失敗を超越し、高きへのぼろう。

私は自身の運命を切り開く鍵を有していると信ずる。それ故環境の奴隷となることなく環境の支配者となろう。

私は失望落胆に屈服することなくこれを足許に踏みにじり成攻一の踏み石としよう。また自身の障害を克服し、障害をしてよき機会たらしめよう。

私は今日の失敗を明日への勝利に導く助けとしよう。明日は新しき力、新しき望み、新しき機会、新しき門出をもたらす。それ故勇氣と平靜な心と不屈の精神とをもつて明日に備えよう。

私はすべてに最善を尽し、また不要な氣苦勞にする知力の消耗を避けよう。

私は不穩な考えを抑制することを学び、物事の明るくいよい面をみるよう心掛けよう。

私は臆病を捨て雄々しく世に立ち向い、神の与え給うた生得権を守り、よき人間となろう。

## ◆◆読者交歓室◆◆

### B・Y・Uの交友

日本を離れてからはや一ヶ月たちました。まだ時折アメリカに居るような気が致しません。どこへ行ってもやはり自分の国はなつかしいものです。皆様にこれから少しこちらの様子をお知らせ致しましょう。私が住んでいるプロボは雪は少ないのですが、かなり寒い所です。見渡す限り山ばかりです。ブリガム・ヤング大学も高い丘の上にありますので、毎日この丘を上ったり下ったりしています。さすがに大学は大規模です。

構内の一つ／＼のビルディングには教会の歴史上の人物の名前がついております。例えばジョセフ・スミスビルディングとか、デビッド・オー・マッケイビルディングとかその他たくさんあります。この構内には、あらゆるものを売る店

も、食堂も、設備されています。働いている人たちのほとんどは、B・Y・Uの学生です。

先週の日曜日の朝、はからずもタバナクルの中に入る事ができ、かの有名なタバナクル合唱団の練習振り、と、放送を聞くことができました。タバナクルとリチャード・L・エヴァンス長老の魅力ある生の声をきかれました事は、本当にうれいし事でした。ゴースリン・D長老の知合で二十年以上もこの合唱団のメンバーになっている方のお世話で特別入る事ができました。バックステージには一万八百というパイプが備えてあるのには驚きました。ペキストン長老も、この合唱団のメンバーですので、彼が色々な人に紹介して下さり、内部をずっと説明して廻って下さいました。タバナクルのすぐ隣の建物は博物館です。こゝにはブリ

ガムヤングの使用した帽子とかベルトとか、開拓者の記念物とか死体などもありました。信仰の為に生命を亡くした人たちの死体をすぐ側で見ても、私はぜん／＼気持ち悪いとは思いませんでした。先週の土曜日は、神殿のすぐ近くで日本人パーティーが催されまして、たくさん日本人と帰還宣教師が集まりました。スキヤキを食べたり、演芸会をしたり致しました。古い時の宣教師、シャム長老とかオールドハム長老等にお会いしてうれいでした。二人ともかつぶくのいゝ中年紳士になっていました。

日本からの兄弟姉妹もみんな元気ではりきっております。ハワイのジョーンズ長老は最近結婚しまして、夫婦でB・Y・Uに出席しております。この大学で、カナヘレ長老は日本語を、ヒギンズ長老は数語を、フアーガスン長老は社会学を各々教えております。ヒルス長老と新後関兄弟が私と同級です。

シヤムエイ(ラーリー)長老とテルフォード、ウオーカー各長老又ワーゼン姉妹達は大変熱心に毎週日本語を習っております。

私の家には、三人のアメリカ人と、一人はホンコンからもう一人は台湾からの人達が居ます。食事の仕度を交代でしています。アメリカ料理も中華料理も日本のものも色とり／＼ですから、変化があつて大変いゝです。皆いゝ人達です。ので幸せです。

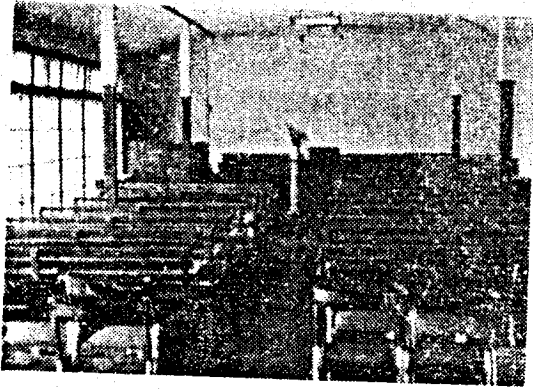
以前のロバートソン伝道部長はB・Y・Uの燃料などを世話する事務所で働いております。学校では毎週月曜日の午前中に、世界で有名な各方面からの演説者の話をきき水曜日は教会の幹部の人達からのお話がきかれます。金曜日は、学生のタレント発表があります。

毎日／＼宿題におわれて忙がい毎日を通してあります。忙がい方が、ホームシックにならないですむでしょう。ではまたお便り致します(プロボにて山田郁子)

## 声のたより

昨年より新潟支部と東京中央支部は録音テープにより何回かたよりを交換しました。これは新潟支部出身の細野武兄弟が非常に努力して新潟支部の発展を願って、東京の声を、集会を、地方部指導者の声や新しい練習の歌などを録音して送ったので細野兄弟の努力が新潟支部の方に大変感謝されて居ります。(東京中・遠藤文方)

## 札幌支部増、改築完了



札幌支部教会堂

長い間夢に見た支部増、改築も恵まれて十二月中旬完了いたしました。私たちの支部は新たにパプテスマを受けるための場所が設けられ会堂が広くなりました。又その他各部屋部屋は雰囲気明るくするためにきれいな色が塗られ、MIAその他用に立派なステレオ装置も整備されています。北回札幌では、会員、求道者一同この恩恵に対して外気に負けない喜びを感じています。

尚一月十四日に建築資金獲得のためにダンス・パーティーを開きました。札幌にもう一つの支部を設けるため支部の一同は、はりきっています。(札幌・小城理子)

## 初等協会の

## クリスマス・パーティー

子供が一杯。手や口にキャンディを持ち乍ら或るいは遊び或るいはおしゃべりを或るいは歌を。

冬の残照がこのホールを取りまき木々の影をうすりと浮かばせ

て窓ガラスにあかね色のしま模様

を作る頃、90人の小人と10人の大人が合唱を聞いている。

その声に余りにも特色を持ち過ぎた結果、理解され難いこのグループの名をオクトパスと云う。

訳せば、蛸。従って8人編成。

讃美歌を唱う際特有の、聴く人々の心をつつみこんで洗い清める様な時間の後。

ゴンベサンガ タネマイタラ：

子供達はにぎやかな内にも舞台上に見入っている。

聞くということよりはむしろ見ることによつて理解するものであるらしい。舞台上の人と共に楽しみ乍ら。

次に、人形劇団トレバハによるアンデルセンの裸の王さま。

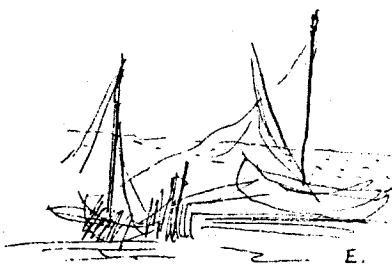
日常見る機会の少ない指人形に子供たちは驚嘆に近い目を見張っ

ている。

色彩豊かな舞台が、巧みなスポット・ライトによつて鮮やかに浮き出され、こつけない人形の動きが笑いを誘う。

台詞がテープ・レコーダーによる為か後の席へ届かない難点はあるが、人形の動きは起伏を持ち、あたかも幾つもの表情をもっているかの如く。観る者をアンデルセンの世界に導き込んでいった。

(東京北・谷上邦彦)



## ◆◆読者交歓室◆◆





キリストにより凱旋した

## 野口善二郎兄弟

私たち本伝道部内の兄弟姉妹が齊しく敬愛する野口善二郎兄弟がその強い信仰と博学な知識及び豊富な経験を以て去る二月十五日午後六時〇八分早急に神の御許に召されましたことは必ずや霊界に於ける特別の使命があったからに相違ありません。素晴らしい兄弟の信仰と学識経験は霊界に於て更に活用進展されて行くに違いありません。愛と平和の権化のような兄弟の円満な人格に日頃親しく接していた私共は人間の情として此の一時的な別離に誠に忍びがたいものを感じるのですが信仰を完うして主の御手の内に凱旋して行った兄弟にとって死は誠に甘いものであったことでしょう。

野口兄弟は府立一中から東京商科大学を卒業の秀才コースを踏まれ一九四九年九月十七日バプテスマを受けて

教会に入り一九五七年十二月二十九日奈良、高木、佐藤三兄弟と共に最初の地方部評議員に按手任命され京浜各支部を巡回して伝道して居られたが昨年春、東京西支部推進の重責を負って西支部長となつてからは専心支部発展の為に尽くされ、西支部兄弟姉妹が支部の慈父として如何に兄弟を慕っていたかは、今度副支部長の浅田兄弟を始め支部会員一同が心を一つにして如何に心痛し祈り、お世話されたかを見てもよく伺える。お通夜の時も兄弟の家に入りきれない程の人でしたが特に目立ったのは兄弟御夫妻が出雲の神として縁を結ばれた幾組もの兄弟姉妹が涙をぬぐいつついろ／＼とお手伝いをしている姿でありました。

# 伝道本部だより

## 伝道部系図委員会

二月二日午後七時伝道本部に於て左記兄弟姉妹がアンドラス伝道部長により伝道部系図委員会役員に按手任命された。

### 伝道部系図委員会

- 第一補助 丸山 周兵
- 第二補助 佐藤 泰生
- 書記 大塚美穂子
- 委員 細野 武

尙、今後各教堂の本部宛提出する系図及び家族の記録日文控は中央支部キヤビネに厳重に保管することになり、従来本部翻訳室に附設していた系図図書も中央支部系図書室に合併拡充することとなりましたから皆様の御活用を期待します。

## 解任

オリオン・ウード長老は二月二十日解任された。

## 任命

ポール・W・ホルブロック長老  
岡町支部長

## 転任

マーレン・マカヒ長老  
岡町へ

## 結婚

東京北支部の昼間修一郎兄弟は野中妙子姉妹と一月九日に結婚された。

## 命名と祝福

札幌支部の藤田秀光、柳沢敏夫兄弟、東京中央支部の今井一男、小室敬兄弟、東京南支部の前沢敬悦兄弟の五人は長男長女の誕生に恵まれみづからの手で命名と祝福を行った。

藤田チエ子

一九五九年八月二日祝福

柳沢 マリ

一九五九年五月二十四日

今井 真一

一九五九年十二月六日

小室 敦子

一九五九年十二月六日

前沢 慈美

一九五九年十二月六日

## バプテスマ

- |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |        |       |       |       |       |       |       |        |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 渡辺 美津恵 | 坂口 二葉 | 立野 嘉久 | 魚井 京子 | 森井 卓見 | 村井 紘子 | 前田 和子 | 梶下 光紀 | 山藤 敏郎 | 近藤 敏郎 | 村野 和子 | 竹之内 忠広 | 坂本 恒夫 | 飯塚 基央 | 松井 一枝 | 井上 明美 | 樫村 輝代 | 古波 啓次 | 与古田 静子 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|

- |    |    |    |    |     |    |     |    |     |     |    |
|----|----|----|----|-----|----|-----|----|-----|-----|----|
| 福岡 | 群馬 | 広島 | 松本 | 西ノ宮 | 岡町 | 三ノ宮 | 札幌 | 東京中 | 東京南 | 那覇 |
|----|----|----|----|-----|----|-----|----|-----|-----|----|

他に韓国に十名のバプテスマがありました。

## 神権

### ○執事

- |       |     |       |    |        |    |         |    |      |     |        |    |       |       |   |         |    |         |   |       |    |         |     |       |    |       |     |      |     |       |    |
|-------|-----|-------|----|--------|----|---------|----|------|-----|--------|----|-------|-------|---|---------|----|---------|---|-------|----|---------|-----|-------|----|-------|-----|------|-----|-------|----|
| 小島 敏夫 | 阿倍野 | 淮田 忠勝 | 旭川 | 土田 カズオ | 新潟 | ホソイマサヒロ | 札幌 | 原 靖之 | 東京中 | 成田 富士夫 | 那覇 | 下地 正二 | 高良 慎清 | 〃 | 伊藤 ヨシヒコ | 旭川 | 大田原マサトシ | 〃 | 児玉 栄治 | 松本 | クズミタカヨシ | 三ノ宮 | 平野 隆弘 | 札幌 | 深沢 暢決 | 東京中 | 清水 徹 | 東京中 | 清野 清光 | 山形 |
|-------|-----|-------|----|--------|----|---------|----|------|-----|--------|----|-------|-------|---|---------|----|---------|---|-------|----|---------|-----|-------|----|-------|-----|------|-----|-------|----|

### ○祭司

川上 輝男 室蘭  
長嶺 顕正 那覇  
他に韓国に執事三名、祭司一名の聖任があつた。

## 支部所在地

阿倍野 大阪市阿倍野阪南町中一ノ三八  
旭川 旭川市八条五丁目  
福岡 福岡市薬院大通二ノ五五  
群馬 高崎市並榎町二七五  
広島 広島市古田町古江四〇〇ノ三  
金沢 金沢市成瀬町一ノ四 野田方  
甲府 甲府市富士見町一  
松本 松本市沢村一六〇四  
室蘭 室蘭市幸町八九  
名古屋 名古屋市中昭和区北山町三ノ四一  
新潟 新潟市中大畑町五五七 金井方  
西ノ宮 兵庫県西ノ宮市田代町一一一  
岡町 大阪府豊中市岡町北二ノ一八  
岡山 岡山市国富一ノ一九 丹下方  
小樽 小樽市富岡町一ノ三五  
三ノ宮 神戸市灘区篠原本町四ノ三五  
札幌 札幌市北二条西二四丁目  
仙台 仙台市光禅寺通り二八  
東京中央 東京都渋谷区八幡通一ノ三四  
東京北 東京都豊島区椎名町四ノ二〇六八  
東京南 東京都大田区南千束町二四九  
東京西 東京都武蔵野市吉祥寺三六八  
山形 山形市諏訪町三九七  
柳井 山口県柳井市今市三九一  
横浜 横浜市港北区篠原町二九  
横天間 神縄宜野湾村野嵩区三二八  
那覇 神縄那覇市松尾区一三九

## 編集後記

二月の十五日野口兄弟は来る春を待たで霊界へ逝った。在りし日の姿は今なお眼の前にある。野口兄弟が急に逝ったのは、確かに墓を越えた彼方の世に於て是非ともしなくてはならない大切な御用があったにちがいない。御遺族の上に豊かな祝福を祈り奉る。(佐藤 竜)

二月号より気づかれていますと思いますが、今年から聖徒の道は年間を通じてページを通し番号に致しました。十二月号には附録として一年間の目次を印刷しみなさんに送りたいと思います。一年間ごとに聖徒の道を製本しておけば教会の一つの文獻となるでしょうからそのときの役に立てていただきたい。

○ ○ ○  
新たな企画として毎月模範的なモルモン家庭を一族づつ紹介致して行きたいと思ひます。みなさんの紹介したい家族の写真や記事を編集部まで送って下さい。

『モルモンの家庭は小さき天国であり、また楽園の一角であり、更に聖なる寓居でもある。そしてモルモンの家庭に於ては「お父さん」「お母さん」という呼び名は最も神聖なものであると考えられるし、また子供たちは高価なる「宝」と考えられている。まことに親たることは最高のまた最も神聖なる天職であるとされているし、立派な子供をもうけ、養育することはこの世で夫婦がなし得る最大の奉仕であると考えられている』

(大塚)



3月号表紙——新に十二使徒に召されたハーワード・ウィリヤム・ハンター長老

月刊「聖徒の道」第四卷第三号

一九六〇年三月一日発行

実価 一ケ年 三百円

一部 三十円

編集兼  
発行人

ポール・C・アンドラス

発行所

東京都港区麻布広尾町十四

末日聖徒イエス・キリスト教会

北部極東伝道部

# 内 案 書 図

|          |           |      |       |
|----------|-----------|------|-------|
| 教義と聖約    | 高価なる真珠    | 合本   | 一一〇〇円 |
| モルモン経    | 教義と聖約     | 合本   | 三〇〇円  |
| 高価なる真珠   | モルモン経     | (新訳) | 二〇〇円  |
| モルモン経    | 信仰箇条の研究   |      | 三三〇円  |
| モルモンとは   | 完成への道     |      | 二〇〇円  |
| 初等協会教科書  | 総合聖句の手引   |      | 一五〇円  |
| 日本系図探究要覧 | 古代アメリカの生活 |      | 一〇〇円  |
| 旧約聖書物語   | 家督権の祝福    |      | 一〇〇円  |
| 扶助協会手引   |           |      | 五〇円   |

## 日曜学校用

|          |        |      |       |         |
|----------|--------|------|-------|---------|
| 宗教と生活 II | よきおとづれ | 聖書物語 | 福音の実践 | 聖典中の指導者 |
| 一五〇円     | 一〇〇円   | 一五〇円 | 一五〇円  | 一五〇円    |

## M I A 用

|           |         |               |               |           |         |            |
|-----------|---------|---------------|---------------|-----------|---------|------------|
| 役員と指導書の手引 | 我らは奉仕する | Mメン・グリーンナーの手引 | 演劇指導者基礎知識と脚本集 | 演説が上手になる法 | 社交ダンス必携 | 新しいフォークダンス |
| 一〇〇円      | 一〇〇円    | 一〇〇円          | 七五円           | 一五〇円      | 一六〇円    | 五〇円        |

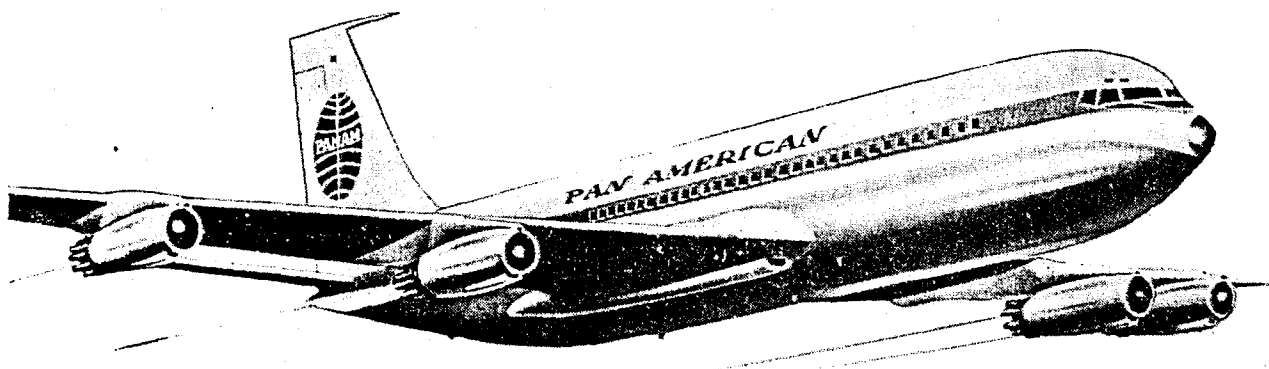
## 讃美歌及び歌集

|         |           |       |            |
|---------|-----------|-------|------------|
| 末日聖徒讃美歌 | 末日聖徒讃美歌抜萃 | 子等は歌う | レクリエーション歌集 |
| 三〇〇円    | 三〇〇円      | 一〇〇円  | 四〇〇円       |

航空界のリーダー パンアメリカンが誇る！

# JETS

全世界を結ぶ  
ジェット クリッパーの航空網——



パン アメリカンのジェット クリッパー\* は太平洋と大西洋を結び、アジアとヨーロッパの両大陸を横断、その上、北極もとんでいます。南米に於ても、パンアメリカンのジェットクリッパーはニューヨーク、ブエノスアイレス間を時速1000キロで往復しています。



詳細は最寄りの航空代理店又は弊社営業所で承ります

東京・千代田区丸の内三菱商事ビル 電話(211)2441

大阪・北区中之島大阪グランドホテル 電話(26)6048—9

世界で  
最も経験ある  
航空会社

\*合衆国特許局登録商標